

ルーティン Plus バイオフィラボノイド

ルーティン Plus は、芝生・グランド等に使用できる活性剤です。

生分解性が良好なため、地下水、土壌を汚染しません。

P R T R法（化学物質管理促進法）に指定された化学物質を使用していません。環境に配慮した成分のみから製造しています。

ルーティン Plus の性質

外観等：透明粘性液体

沸点：約 100 °C

融点：0 °C 以上

比重：1.05 (25°C)

pH：約 6

成分

- ① ルチン
Bis(2-ethylhexyl)Sulfosuccinate Sodium Salt
- ② トレハロース・グリシンベタイン
- ③ 微量元素
- ④ ビタミンC他・ビタミン郡

アントシアンとは

無機養分の欠乏、過剰、アンバランス、温度ストレス、病害などはすべて葉の光合成を抑制する環境要因となりアントシアニンの合成が促進されます。この他、光合成、特に CO₂ 固定反応を低下させる多くの環境要因はすべて、アントシアニン合成を誘導、促進することが実験で示されています。これは現在次のように考えられています。光合成は太陽エネルギーを利用して合成される生化学エネルギー（ATP, NADPH）を生産する光化学反応(P)と、この生化学エネルギーを用いて CO₂ を固定する反応(A) に分けられます。P=A であれば太陽光エネルギーがすべて CO₂ 固定に利用されますが、環境要因によって（ここでは水はけが悪く、無機養分が吸収されにくくなると）A が低下し、P>A となります。このようになると CO₂ 固定に利用できなくなった太陽光エネルギーの一部が活性酸素を生成するように働き、葉の光合成装置を破壊するようになります（光阻害）。この光阻害を防ぐため、主に葉の表皮細胞でアントシアニンが合成され、アントシアニンが太陽光のフィルターとして働き、葉緑体にあまり太陽光が届かないようにし、P を低く保つようにしています。このように、環境ストレスによって A が低くなっても、アントシアニンによって太陽光を吸収し、P=A になるようにして活性酸素が生じないようにし、光阻害が生じないようにして

いると考えられます

ルーティン Plus の効果

ルチンはバイオフィラボノイドのひとつで、ビタミン P と呼ばれることもあります。バイオフィラボノイドは野菜や果物に見られる植物色素の事で、黄色、赤、青などの色を作る成分ですが、害虫、カビ、細菌から自分を守るという働きもしています。

ルチンは、そばの実特有に含まれているポリフェノール成分で、強い抗酸化作用をもっています。またルチンのポリフェノールは抗酸化性に加えて、ビタミン C と同時に摂取することで、毛細血管を強化し加えて、ビタミン C の作用を強化する働きもあることから、アントシアニンの抑制、コラーゲンの合成も促進する作用もあり、抗酸化性・メラニン抑制成分としても採用されています。ビタミン C は通常、ある一定の量しか植物体に溜めておけませんが、ルチンを摂取しておくことで、通常よりも長い間保つことができる性質もあります。

さらにルチンは、アントシアニン反応を引き起こすとされるストレス成分の分泌速度を遅らせる効果があるため、活性剤としても利用されています

主な使用目的

冬場のアントシアニン抑制

その他、期待できる効果

- * 植物の老化予防・・・酵素・補酵素との併用
- * 農薬類の分散・浸透（肥料や農薬との相性が良い、低反応性）
→粉剤崩壊材として・・・水中へ粉剤を投入した時に粉剤を速やかに崩壊させ、水中に薬剤を分散させます。
- * 緑度の向上
- * 土壌の保湿・吸湿促進効果
- * 液体の土壌内部への拡散、土壌粒子への浸透・分散、及び保湿材として種々の使用が可能。

使用方法

芝、その他の植物の場合、水で 500 倍以上に希釈して月 2 回散布します。

11 月～2 月の冬期及び 7 月～9 月真夏期の前からの使用を推奨いたします。

規格

10L

金額

¥30,000

販売元

株式会社クルーガー

